

## 令和3年度教育研究活動報告書

氏名	林 宏	所属	芸術文化学部美術学科
学位	東京芸術大学 修士	職位	准教授
専門分野	クラフトデザイン、漆芸、塗装、木工		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	デザイン論、構成実習、デッサン基礎実習、総合基礎実習、デザイン実習1、デザイン実習2、デザイン実習3、古美術研究演習、卒業制作
大学院	デザイン学特講、デザイン総合演習、デザイン研究1、デザイン研究2
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
(1) クラフトデザイン、造形に使われる自然素材の調査、研究	
(2) 食の器（漆芸）を通して、暮らしのあり方、食の調査研究	
(3) 全国の自然素材を使った民芸、道具などの調査、研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1	
R3	〈 展覧会 〉 始まりのかたち展 尾道大学美術館
R2	〈 展覧会 〉 教員展 尾道大学美術館
H30以前の主な研究業績	
(1)	〈展覧会〉 東京藝術大学創立125周年記念事業 「漆芸 軌跡と未来」招待出品 (東京藝術大学) 2012年
(2)	〈展覧会〉 ナチュラルマテリアルプロジェクト (六本木ル・ベイン) 2012年
(3)	〈展覧会〉 器奏天回茶展 (うおがし銘茶 築地新店) 2012年
(4)	〈展覧会〉 日本のいろ展2012 (松岡山東慶寺 白蓮舎) 2012年
(5)	〈展覧会〉 個展 林宏 漆の器展 (栃木 アルゴノート) 2013年
(6)	〈展覧会〉 japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ) 2013年
(7)	〈展覧会〉 吉木呂の会展 (新宿 伊勢丹) 2014年
(8)	〈展覧会〉 漆芸二人展 (瑞玉ギャラリー 東京) 2014年
(9)	〈展覧会〉 草木と漆の器展 (代官山 無垢里) 2015年
(10)	〈展覧会〉 日本のいろ 展 (松岡山東慶寺ギャラリー) 2015年
(11)	〈展覧会〉 草木と漆の器展 (代官山 無垢里) 2016年
(12)	〈展覧会〉 吉木呂の会展 (松岡山東慶寺ギャラリー) 2017年
(13)	〈展覧会〉 陶と漆の器展 (代官山無垢里) 2018年
(14)	〈展覧会〉 感覚のかたち展 (MOU尾道市立大学美術館) 2019年
(15)	〈展覧会〉 陶と漆の器展 (日本橋三越) 2019年
(16)	〈作品収蔵〉 東京藝術大学
(17)	〈作品収蔵〉 フィラデルフィア美術館
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) R1・R2・R3	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
おのみちの森づくり検討会 令和3年より	
日本文化財漆協会 常任理事 任期なし	

IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
<p>（NGO・NPO活動、国際交流・協力活動、ボランティア活動等その他特記事項があれば記入）</p> <p>日本文化財漆協会による漆の植栽を計画し、その他漆芸に関わる調査、研修などを企画立案した。 Npo法人「杓木呂の会」会員として主に漆の木を育てる活動に参加してきた。その他、広島県三次漆生産組合代表武田浩嗣氏と連絡を取り合い、広島県内における漆植栽の可能性を話し合った。コロナ禍のため実現しなかったが、漆苗の生産を勉強している広島県内の高校2箇所を取材の予定を立て、道筋をつけた。今後も漆植栽に関わる活動に参加し、尾道森づくり検討会委員に任命されたことから、漆以外の木の植栽や調査についても行っていきたい。</p>			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道森づくり検討委員会	委員長・委員等の別	1回